◎令和5年度 第1回 相模原中等教育学校 学校運営協議会

1 校長挨拶

・学校教育計画【4年間の目標と主な方策】の中間報告から振り返りを行うとともに、次の4年間の計画策定に向けた意見を頂きたい。

2 学校運営協議会委員紹介

- (1)委員
 - ・自己紹介を行った。
- (2) 学校担当職員紹介
 - ・自己紹介を行った。
- 3 学校運営協議会 会長及び副会長について
 - ・会長 加賀 大学 副会長 宮坂 賀則 に決まった。

4 学校より

- (1) 学校運営協議会について
 - ・副校長より、説明を行った。
- (2) 令和5年度 学校運営方針について
 - ・校長、副校長より、説明を行った。
 - Q 5つの教科横断授業が実践されたとあるが、具体的にはどの教科で行われたか。
 - A 数学と英語、音楽と物理、家庭科と美術、理科と環境(防災)、国語と社会の5つ。
 - Q 学校生活の満足度調査について、1学年の「満足している」が56%と低く出ているが、原因分析はしたのか?
 - A 去年も同じ指摘を頂き、残り44%の分析が優先という方向性になっている。
 - Q 進路状況について、進学準備等が増えている要因は何か。
 - A 前年度より出願数が減っていることから、第一志望に落ちた際に志願を下げず、 浪人する生徒が多かったと考えている。
 - Q 支援室について、場所的に暗い印象があるが何か工夫はしているのか。
 - A ペンキの塗りなおしやソファの入れ替えなどを行った。
 - Q 支援教室は市町村で設置されているが、ここでは何故学校対応なのか。
 - A 県立の中学校に通っている生徒は市町村設置の支援教室の対象外のため。
 - Q 学習不安での不登校が多いが、具体的にはどんな場面支援をしているか。
 - A オンライン授業で対応したり、やりたい科目から参加させたりしている。また、 ケース会議もこまめに開催している。
 - Q 前期生に長欠が多い。遠方からきている生徒も多く、家庭との連携も大変だと思うが、どのように行っているのか。
 - A 前期生については、後期に上がるかどうかを個々に相談して、3年の9月までに は決めるようにしている。
 - A ほとんど動けない生徒もいるので、保護者とともに対応のルールを作るなどして

連携して対応している。後期に上がらない場合は受験勉強が必要となる。多くの 生徒がここで頑張りたいと考えており、後期に入ってから来られるようになる生 徒もいる。

- Q 総合の探究について、担任はどのように働きかけたり、専門的な部分にかかわったりしているか。
- A 新カリキュラムからは3年生で一周し、後期からまた新たに行っている。専門的な部分は企業訪問をしたり大学の先生に助言をもらったりしている。担任は計画を立てさせて支援するだけ。あとは自分たちでやらせる。現3年より、研修旅行も探究に位置付け、3年からチームで探究し、コンペで行き先を決めることにした。
- Q 本校のレベルを維持するためには進学実績の目標値をどうするとよいか。
- A 現在の「60」が適する。一方で、進学先でどう学ぶかも重要なため、卒業から10 年経ったところで評価するなどしたい。

○ご意見

- ・新指導要領社会に観光教育が加わった。探究の活動はそこに繋がっていてとても 良い。社会科から地域貢献などとも繋げて、現代社会を牽引する次世代のリーダ ーになるような子を伸ばしたい。また、生徒が伸び伸びと活動する姿を見ること ができた。
- ・生徒支援について、6年間かけてしっかりと一人ひとりに合わせた支援と相談し やすい体制があることが分かった。また、生徒はそれぞれ力を持っており、それ を伸ばす教育をしていて良いと思った。
- ・保護者の中には中等に通うことで、英語でプレゼンできたり、専門性を極めて社会に出られたりすると思われており、それを求められている。また、近辺の小学校としては目指すものが身近にあって良いと感じる。

5 その他

- ① 第2回学校運営協議会日程について →11月中旬から下旬の予定。
- ② 令和5年コミュニティ・スクール説明会について →オンデマンド形式の動画配信にて令和5年8月~ 10月の期間で配信予定。
 - →アンケート回答は令和5年11月30日まで。